

がん医療の未来をクリエイトする大学発医療系スタートアップ支援拠点事業 ～国立がん研究センターの新しいチャレンジ～



サイエンスでがん医療の 未来を創造する大学発 医療系スタートアップ支援拠点

National Cancer Center Seed Acceleration Program (NCC SAP)

2024年12月13日

第14回 がん新薬開発合同シンポジウム



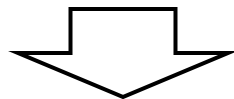
NCC VIPから得た日本のエコシステムの課題

<米国の現状>

- ・創薬の製薬企業からEmerging Bio Pharma (EBP)に主体が移りつつある。
- ・EBPは、Venture Capital (VC) や米国を中心とするスタートアップエコシステムから生み出されている。
- ・カンパニークリエーションモデル (Modelna社など) など米国のエコシステムはダイナミックに進化している。

<日本の現状>

- ・近年VCが数多く設立され投資額は増加するなどエコシステムは構築されつつある
- ・グロース市場でのバイオベンチャーの株価は低迷 (過去2年間で平均-47%) しており日本でのIPOは難しい
- ・基礎研究→スタートアップ→基礎研究という好循環を生みだすには至っていない。



<日本で強化が必要>

- ①質の高い各種専門人材から成るメンターネットワークによるメンタリング・意思決定支援
- ②製造・非臨床試験・臨床試験などを支援する支援機関ネットワーク (病院・CRO/CDMO含む)
- ③サイエンスのバックグラウンドを持つCXO候補人材
- ④米国を含むグローバル市場での資金調達・上市を目指すための支援体制
- ⑤アンメットメディカルニーズに基づくカンパニークリエーション

1) 拠点の全体像



本事業で構築するSU支援拠点の全体像

○アンメットメディカルニーズに基づくスタートアップ創出
日本型カンパニークリエーションモデル構築(S0枠)

○グローバル市場での起業・資金調達・上市を
可能とする支援体制構築(S0～S2枠)

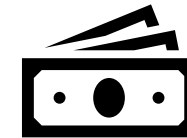
シーズ・基礎技術



スタートアップ設立



資金調達



創薬エコベ
ンチャー等
へ接続

○起業家レジデント制度によるサイエンスバック
グラウンドを持つCXO人材育成(S0枠)

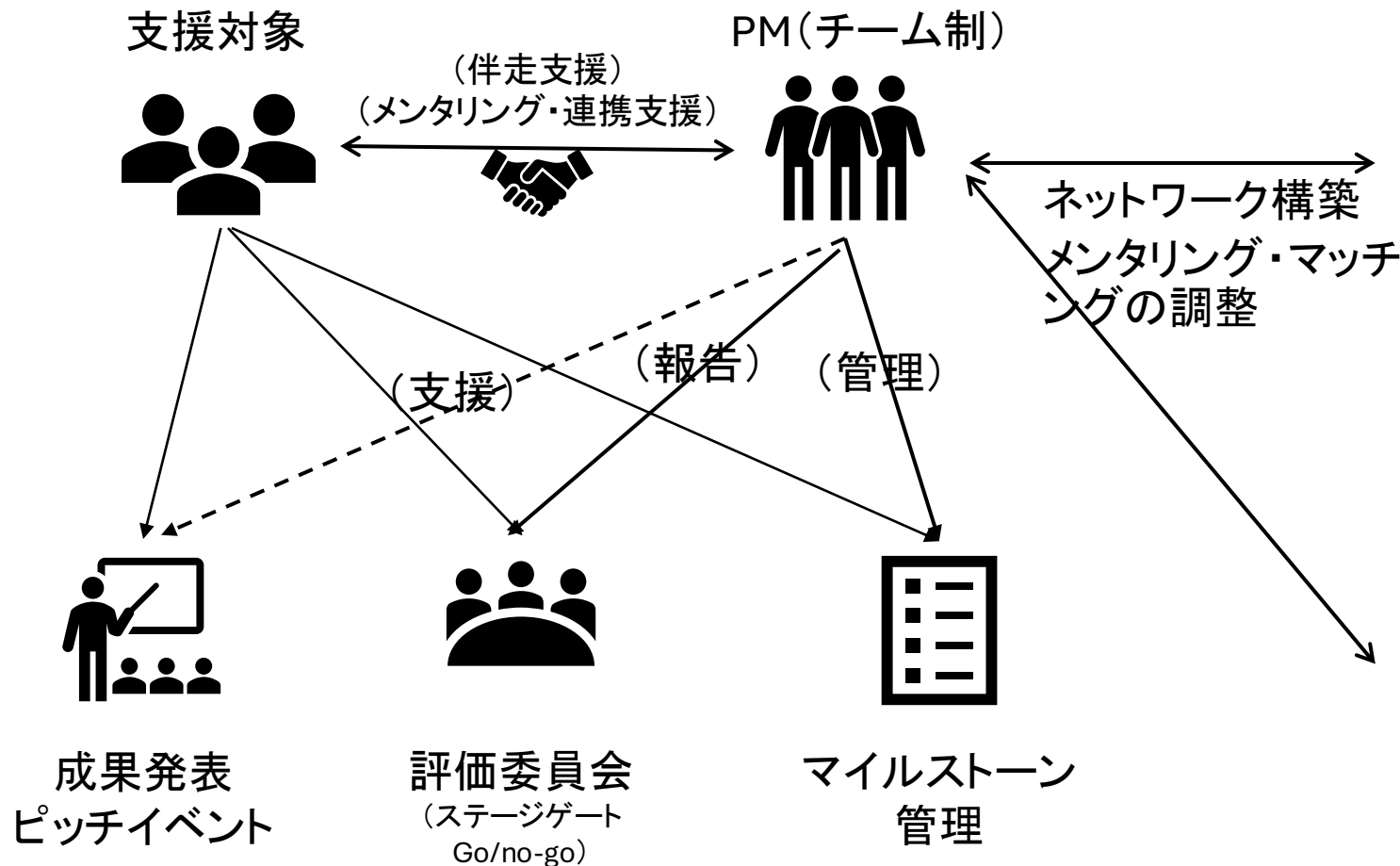
その他:(S0～S2枠)

- 伴走支援および各種専門人材メンターネットワーク
(海外人材を含む)
- 支援機関ネットワーク(国内・海外)
- 教育プログラム(国内・海外)
- 発掘・選定・ステージゲート評価体制の構築

伴走支援

Project Manager (PM)による伴走支援

- ・1支援対象に対して主担当＋副担当のチーム制で担当
- ・1回/月以上の伴走支援・進捗確認(マイルストーン管理)を実施
- ・支援対象との伴走支援にて出てきた課題に対して、適切なメンター・支援機関を選定し、マッチング・コーディネートを実施
- ・マイルストーン達成状況を評価委員会に報告
- ・成果発表等のイベントの支援



○メンターネットワーク

役割名	役割	担当部署・連携先
Project Manager(PM)	伴走支援 各メンタリングの調整	NCC内部：橋渡し研究推進センターに設置 (NCC VIPにて整備済：5名→増員)
Key Opinion Leader (KOL)	開発戦略 (開発領域・非臨床/臨床POC取得等)	NCC内部の研究者/臨床医 (NCC VIPで整備済) (必要に応じて) 国内外の研究組織の研究者/臨床医
薬事専門家	薬事開発戦略	NCC内部のPMDAでの審査官経験者 (NCC VIPで整備済)
知財戦略	知財戦略・取得支援	NCC 産学連携支援部門 (構築済み)
スタートアップ経験者	スタートアップ全体のメンタリング	NCC VIP卒業チーム、NCC関連ベンチャー、および連携VC等からの紹介にて指名 (新規構築：3名合意済み)
製薬企業出身者	事業開発・M&Aに向けたデータ取得等	協力機関に所属する製薬企業出身者を指名 (新規構築：協力機関よりより4名合意済み)
ベンチャーキャピタリスト	事業計画策定・資金調達・人材確保等	連携VCより指名 (NCC VIPにて整備済)
その他専門家 (知財等)	上記でカバーできない範囲	知財戦略その他、都度必要に応じてPMを通じて指名する (新規構築：知財専門家・再生医療製造等 合意済)
海外展開/海外人材	海外での起業・研究開発・上市など	協力機関 (JETRO) による支援 (NCC VIPで整備済み) 海外拠点 (TMC) 担当者によるメンタリング (新規構築)

○支援機関ネットワーク

役割名	役割	連携先
非臨床POC取得 臨床試験支援 産学連携・知財	評価系の確立・検証 非臨床・臨床POC取得支援 産学連携・知財等の支援	非臨床：先端医療開発センター(EPOC) 臨床試験：国立がん研究センター発がん研究センター(FIGC) 産学連携：国立がん研究センター中央病院・東病院 (臨床研究支援センター) 産学・知財：産学連携知財戦略室(産地)産学連携支援室(産地)
インキュベーションラボ	インキュベーション施設 共同ラボ施設	MITSUI LINK-Lab 産学連携支援センター 構築済み
CRO/CDMAネットワーク	製造支援	和歌山県立中央病院 和歌山県立中央病院 構築済み
Venture Capital	経営支援・メンタリング 資金調達支援	UTEC Beyond Next Ventures 構築済み
海外展開	イベント参加支援 海外での起業・資金調達 現地人材採用	JETRO 海外イベント等への参加支援 構築済み
教育プログラム(委託)	オリジナル(日本語)プログラム 海外研修プログラム	ビジネススクールへ委託 (候補：経営大学院など) オリジナルプログラム構築 新規構築(業務委託予定)
広報・イベント運営 その他	イベント告知・募集 広報活動	海外アクセラレーター 海外起業・資金調達支援 構築済み













伴走支援・メンターネットワーク

役割名	役割	担当部署・連携先
Project Manager(PM)	伴走支援 各メンタリングの調整	NCC内部：橋渡し研究推進センターに設置 (NCC VIPにて整備済：5名→増員)
Key Opinion Leader (KOL)	開発戦略(開発領域・非臨床/臨床POC取得等)	NCC内部の研究者/臨床医(NCC VIPで整備済) (必要に応じて)国内外の研究組織の研究者/臨床医
薬事専門家	薬事開発戦略	NCC内部のPMDAでの審査官経験者(NCC VIPで整備済)
知財戦略	知財戦略・取得支援	NCC 産学連携支援部門(構築済み)
スタートアップ経験者	スタートアップ全体のメンタリング	NCC VIP卒業チーム、NCC関連ベンチャー、および連携VC等からの紹介にて指名(新規構築：3名合意済み)
製薬企業出身者	事業開発・M&Aに向けたデータ取得等	協力機関に所属する製薬企業出身者を指名 (新規構築：協力機関よりより4名合意済み)
ベンチャーキャピタリスト	事業計画策定・資金調達・人材確保等	連携VCより指名(NCC VIPにて整備済)
その他専門家(知財等)	上記でカバーできない範囲	知財戦略その他、都度必要に応じてPMを通じて指名する(新規構築：知財専門家・再生医療製造等 合意済)
海外展開/海外人材	海外での起業・研究開発・上市など	協力機関(JETRO)による支援(NCC VIPで整備済み) 海外拠点(TMC)担当者によるメンタリング(新規構築)

拠点内

拠点外
(協力機関)

支援組織ネットワークの概要

役割名	役割	連携先
非臨床POC取得 臨床試験支援 産学連携・知財	評価系の確立・検証 非臨床・臨床POC取得支援 産学連携・知財等の支援	<div><div>国立研究開発法人 国立がん研究センター National Cancer Center Japan</div></div> <div>非臨床：先端医療開発センター（EPOC） 基盤的臨床開発研究コアセンター（FIOC） 臨床試験：国立がん研究センター中央病院・東病院 （臨床研究中核病院） 産学・知財：産学連携知財戦略室（築地）産学連携支援室（柏）</div>
インキュベーションラボ	インキュベーション施設 共同ラボ施設	<div><div>MITSUI LINK-Lab Life Science Innovation Network・Laboratory</div></div> <div>LINK-Lab柏の葉 （NCC柏キャンパス隣接） 構築済み</div> <div><div>Be a Great Small. 中小機構</div><div>関東本部： 東大柏の葉ベンチャープラザ （関東7拠点 全国29拠点） 新規構築（合意済）</div></div>
CRO/CDMAネットワーク	製造支援	<div><div>柏の葉再生医療 プラットフォーム （柏の葉地区） 構築済み</div></div> <div><div>RINK 新規構築（合意済）</div><div>かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク</div></div>
Venture Capital	経営支援・メンタリング 資金調達支援	<div><div>UTECEC 構築済み</div></div> <div><div>Beyond Next Ventures 構築済み</div></div> <div><div>VENTURE GROWTH INVESTMENTS 構築済み</div></div> <div><div>AN VENTURES 新規構築（合意済）</div></div>
海外展開	イベント参加支援 海外での起業・資金調達 現地人材採用	<div><div>JETRO Japan External Trade Organization 構築済み</div></div> <div>海外イベント等 への参加支援</div> <div><div>海外アクセラレーター</div><div>新規構築（合意済）</div></div> <div>・海外研修プログラム ・メンタリング ・海外起業・資金到達支援</div>
教育プログラム（委託）	オリジナル（日本語）プログラム 海外研修プログラム	<div>ビジネススクールへ委託 （候補：経営大学院など） ・オリジナルプログラム構築 新規構築（業務委託予定）</div> <div><div>海外アクセラレーター</div><div>新規構築（合意済）</div></div>
広報・イベント運営 その他	イベント告知・募集 広報活動	<div><div>LINK-J Life Science Innovation Network Japan 構築済み</div></div> <div><div>MITSUI FUDOSAN 構築済み</div></div>

教育プログラム

○独自プログラム(新設)

- 「グループワーク等を含む医療に特化したアントレプレナー育成プログラム」
 - ・ 期間： 合計14日間（月2回開催で7か月）
 - ・ 開催頻度： 年1回
 - ・ 参加人数： 20名（支援対象枠が余れば外部から公募）
 - ・ 開催形式： オンライン（ただし、インタラクティブな質疑応答形式で実施）
- <プログラムの概要>

開始前：	e-learningにて基礎的知識を習得
Day1-2：	スタートアップの実践知識（知財・資本政策・VCからのフィナンス）
Day3-5：	製品開発とプロジェクトマネジメント（マイルストーン設計と仮説検証、チームビルディング、薬事規制、知財戦略、臨床試験等）
Day6-8：	戦略策定スキル（医療ビジネス・市場顧客理解・マネタイズ戦略・ビジネスプラン）
Day9-10：	グループワーク（ビジネスプラン策定）とメンタリング
Day11：	中間発表
Day12-13：	グルー
Day14：	最終報

○独自プログラム(既存)

豊富な臨床・非臨床研究に関する教育プログラムで院内外の研究者に提供

臨床試験関連セミナーシリーズ

2023年度 臨床試験セミナー：概観

2023年度 臨床試験セミナー：入門編

2023年度 生物統計セミナー

2023年度 臨床試験セミナー：入門編

2023年度 臨床試験セミナー：入門編

非臨床・開発関連セミナーシリーズ（CPOTにて実施）

非臨床研究セミナー

非臨床研究セミナー

非臨床研究セミナー

非臨床研究セミナー

非臨床研究セミナー

セミナー情報の一元管理の開始

セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度
セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度
セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度
セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度
セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度
セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度	セミナーマップ2023年度

非臨床～臨床研究、生物統計など幅広い豊富な教育プログラムを提供

○海外プログラム

JETROを通じた海外研修会プログラム・海外展示会参加

- ・JETRO-NCCの包括連携契約に基づき実施
- ・NCC VIP参加チームによる活用実績あり（研修2社、展示会6社）

JETRO Japan External Trade Organization

日本発スタートアップの海外展開支援

米国BIO2023ジャパン/ビリオン・Japan Innovation Night開催

世界最大級のバイオ展示会「BIO2023」にジャパン/ビリオンを設け（設置20周年）、我が国スタートアップ（34社）の海外展開支援、併催「Japan Innovation Night」開催、日本バイオエコシステム関係者が交流。

ジャパン/ビリオン概要

Japan Innovation Night概要

実施記録・評価等

海外アクセラレーター

- ・下記の教育プログラム＋メンタリングを有料で提供
- ・将来的にBioBridgeとして日本との連携契約を目標とする

TMC | ACCELERATOR

Accelerator for cancer therapeutics

Investigations and early-stage biotechnology company executives can access guidance on clinical and business development through the Accelerator.

The TMC Accelerator for Cancer Therapeutics is funded by the Cancer Prevention and Research Institute of Texas (CPRIT) and launched in collaboration with the Gulf Coast Consortia (GCC) and the University of Texas Medical Branch (UTMB) to support Texas-based biotech entrepreneurs and researchers contemplating transitions alongside institutional technology transfer teams.

Curriculum

Week One – Startup and Venture Fundamentals

Week Two – Startup and Venture Fundamentals Continued

Week Three – Product Development

Week Four – Product Development Continued

Week Five – Fundraising

Week Six – Clinical Trials

Week Seven – Pitching and Building a Team

2)これまでの取り組みと 拠点の特長・特色



ベンチャー
キャピタル



ファンディング機能

インキュベーション機能

- ・経営支援・メンタリング
- ・ネットワーク支援
- ・経営人材紹介

創業期

- 事業計画
- ・市場調査
 - ・経営チーム
 - ・開発戦略

薬価コンサル
(厚労省薬価算定経験者)

知財・契約
倫理コンサル
・病院(ゲノム・組織・医療情報)
・EPOC(基礎研究)
・NEXT(医療機器)

研究開発環境

- 医薬品・医療機器
- ・基礎研究(POC)
 - ・技術開発
- 非医薬品・医療機器
- ・技術開発
 - ・プロトタイプリリース(POC検証)

アーリー

- 医薬品・医療機器
- ・製造(GMP)
 - ・毒性(GLP)
 - ・早期臨床(GCP)
- 非医薬品・医療機器
- ・プロダクトリリース
 - ・プロダクト検証

薬事コンサル
(PMDA審査官経験者)

エクспан
ジョン

- 医薬品・医療機器
- ・後期臨床(GCP)
 - ・製造販売承認
- 非医薬品・医療機器
- ・PMFの確認
 - ・マネタイズ検証

KOL(臨床医)
(開発戦略コンサル)
(マーケティング)
(臨床開発のリード)



臨床研究支援部門
(医師主導治験の実施)

IPO or M&A

製薬企業
アライアンス
(M&A マッチング)

レイター

NCCHEは医薬品・医療機器開発のすべてのステージでベンチャー企業を支援可能な機能を保有している。

提供価値:ベンチャーキャピタルとNCCが協働することで、バイオベンチャーの成功確率を上げる！！

シンポ (公募開始)



National Cancer Center Venture Incubation Program

ARO×VCで創る新たなエコシステム



3/12 金 13:00 - 16:30








イベントは这样です

National Cancer Center Venture Incubation Program スタートアップセッション ARO×VCで創る新たなエコシステム

09時

第1分団：研究センター事務局、「臨床研究の国際連携」「アジアの医療産業の発展」に両面する Academic Enterprise Platform (AEP) について、大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。また、近江正博（東京大学）と山本マコト（ユニコ・テクノロジーズ (INCUBI-Japan)）が参加いたします。直前直後の、15分間のネットワーキング、懇話会、内閣府主催スタートアップフォーラム、後半は特別講演が実施される予定も入れていきます。

10時 第2分団：第1分団で AROの研究開発と連携して、VCの投資家とスタートアップが対話し、産業・医療創出の機会を捉える。pre - early stageからスタートアップの成長期にわたるスタートアップを支援するスタートアップ・プログラムを説明いたします。特別セッション、参加者同士のマッチング企画、懇話会等を実施いたします。直前直後のネットワーキングの予定も入れていきます。

11時 第3分団：第2分団のスタートアップと投資家をさらにスタートアップ・プラットフォームで結びつけ、産業・医療創出の機会を捉える。pre - early stageからスタートアップの成長期にわたるスタートアップを支援するスタートアップ・プログラムを説明いたします。特別セッション、参加者同士のマッチング企画、懇話会等を実施いたします。直前直後のネットワーキングの予定も入れていきます。

2021/03/12 (金)

13:00 - 16:30 (予定)

場 所 オンライン

プラットフォーム

LINK-J 会場

LINK-J 参加費

LINK-J カウンター

【講演要旨】2021年3月12日（金） 13:00-16:30

プログラム

13:00-13:15 開会挨拶

13:15-13:30 第1分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

13:30-13:45 第2分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

13:45-14:00 第3分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

14:00-14:15 第4分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

14:15-14:30 第5分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

14:30-14:45 第6分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

14:45-15:00 第7分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

15:00-15:15 第8分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

15:15-15:30 第9分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

15:30-15:45 第10分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

15:45-16:00 第11分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

16:00-16:15 第12分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

16:15-16:30 第13分団 大塚典子（東京医科歯科大学）と田嶋孝子（ジェネリック・インベンション）が講演いたします。

ライブイベント

イベント

ワンダー 数：6,817

グループセッション

3月29日～4月27日まで第Ⅲ期公募



国立がん研究センター
Venture Incubation Program

がん研究の未来
診療科・共通部門

東病院内設
取り組み

お知らせ | 活動報告 | 2023年度 第三回参加チーム紹介 | National Center for Venture Incubation Program | 第三回参加チーム紹介

国立がん研究センター（National Cancer Center）Venture Incubation Program | 第三回参加チームの公啓について

告知期間：3月29日（水曜日）から4月27日（木曜日）正午まで

[▼ 告知期間](#)
[▼ 申し込み](#)
[▼ LINEあり](#)

国立がん研究センター（NCC）と東京大学エッジンヤビロパートナーズ（U-TEC）、Beyond Health Ventures 株式会社（BNV）は、革新的医療技術の高度化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム（National Cancer Center Venture Incubation Program（NCC VIP））の第三回参加チームの公啓を2023年3月29日より開始します。

2023年度参加チームは、NCCとU-TECが協賛した VGP を通じて、2023年度はチーム・2023年度チームの支援を行うことで本プログラムにより、各チームがグロースアップし、技術的・機能的な課題が克服でき、事業化へと進みます。第三回となる2023年度は新たに国立がん研究センターの内外を問わず、参加するベンチャー企業（国庫予定企業を含む）を公募いたします。

本プログラムの目的

- NCCが保有する研究施設、支援施設をスタートアップ企業に提供し、NCC 内の革新的医療技術実用化を促進いたします。
- U-TEC、BNV と協力し、事業化までの支援を行います。

本プログラムの対象

- 医薬品、医療装置、再生医療、医療機器、医療 IT まで広く対応いたします。
- 新創としてスタートアップもしくはアクリス・スケージのスタートアップを対象といたします。
- 応募資格や NCC と連携している必要はありません。

支援内容

5-6月
書面→対面での選定

応募 12チーム

(内訳)

医薬品	4チーム
再生医療	3チーム
医療機器	2チーム
ITその他	3チーム

* 8チームがAMED/NEDO獲得済み

↓

書類選考

上位 **8チーム** ヒアリング

5月 書面→対面での選定

応募 11チーム
(内訳)

医薬品	4チーム
医療機器	3チーム
医療IT	3チーム
その他	1チーム

* 3チームが何らかの公的資金を獲得
3チームが申請中

書類選考

上位 **8チーム** ヒアリング

6チーム を採択

6月末～
6チームに対して支援開始

国立がん研究センターと株式会社東京大ウエッジキャピタルパートナーズ ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」2021年度支援チームを決定			
2021年7月1日			
<p>国立研究開発法人国立がん研究センターと東京大ウエッジキャピタルパートナーズは、革新的な医療技術の創出を目的とするベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エヌエヌシーベンチャー・イノベーション・インキュベーション・プログラム)」を2021年4月より開始しました。この度、2021年度支援チームが決定しましたのでお知らせいたします。</p> <p>応募総数12チーム（医薬品4、再生医療3、医療機器2、ITその他3）から書類選考にて上位8チームがヒアリングに進み、ヒアリングの結果以下の5チームが採択されました。</p>			
チーム名	課題	紹介スライド	
セレイビシバビュティクス株式会社	ヒト遺伝子組換え増殖技術を用いた再生医療等製品の開発	PDF(556KB)	
サイアス株式会社	抗原X-CAR発現手術不能進行・腹膜播種型卵巣癌細胞癌をターゲットとした自己同種T細胞由来抗原X-CAR再生自己増殖性T細胞（iCAR-ILC-N101）の安全性、忍耐力、薬物動態、有効性を検証する臨床試験の実施とその成果の事業化	-	
STAND Therapeutics株式会社	細胞内抗体産生STAND技術を用いた難治性がん治療の開発	PDF(1.3MB)	
株式会社PURIX Therapeutics	小分子RNAを用いた肝臓癌医療の開発	PDF(6.4MB)	
国立がん研究センター東京 薬科大学連携 超人医療プロジェクト	細胞深部での可視化による画像術支援を目的とした腫瘍検出用近赤外線イバースペクトライメージングデバイスの事業化	PDF(4.4MB)	
株式会社Sur Storage/国立がん研究センター東病院	外科領域の手術動画情報基盤データベース「IS-access Database(DB)」の産業応用拡大に向けた取り組み	PDF(669KB)	

7月（予定）採択チーム・公表・支援開始

チーム名	課題名
東京大学	1塩基変異を特異的に抑制する SNPD-siRNA 核酸医薬開発
国立がん研究センター 先端医療開発センター	がんの低侵襲治療における治療効果向上と合併症低減を目指した生体親和性ポリマーに関する研究
杏林大学医学部付属病院 形成外科	新しい代用音声デバイスの開発
株式会社セラバイオフ アーマ	難治性がんに対するプロドラッグ型治療薬 TBP1901（グルクロン酸抱合クルクミン・ ナトリウム塩）の開発研究
株式会社 DeaLive	『抗がん剤副作用予測利用と症状管理/栄養摂取 のオンライン個別サポートによる外来化学療 法期間中の体重減少および QOL 改善』
長崎大学先端創薬イノ ベーションセンター	腫瘍抗原特異的アッリーモエリート 細胞を標 的とした新規がん免疫療法の開発と実用化

3月29日 第Ⅰ期成果報告会＋第Ⅱ期公募説明会
～4月15日まで第Ⅱ期公募

[illegible]

第I期から応募チームが倍増！ →Digital Therapyなど新たなモダリティを開発するチームが多く応募

第I期～第III期で延べ、44チーム応募→19チーム採択

第I期：UTEC・三井不動産が参画
第II期：BNVが参画、JETROと連携

10/19チームが創薬、9/19チームが医療機器/メドテック等
15/19チーム(約80%)は 拠点外からの採択

5月 書面→対面での選定

応募 21チーム
(内訳)

医薬品	5チーム
再生医療	1チーム
診断機器	1チーム
治療機器	3チーム
Digital Therapy	4チーム
診断補助	1チーム
医療IT	3チーム
Webサービス	3チーム

* 9 チームが何らかの公的資金を獲得

書類選考
上位 13チーム ヒアリング

7チーム を採択

7月 採択チームの決定・公表・支援開始

国立がん研究センター・株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ、Beyond Next Ventures

ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」2022年度支援チームを決定

2022年7月4日

国立がん研究センター国立がん研究センターと東京大学エッジキャピタルパートナーズ、Beyond Next Venturesは、革新的な医療技術の応用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エヌナショナル・ベンチャー・インキュベーション・プログラム)」を創設し、2022年度より開始しました。この度、第1期2022年度支援チームが決定しましたのでお知らせいたします。

応募総数21チーム（医薬品5、再生医療1、医療機器4、Digital Therapy 4、ITその他7）から書類選考にて上位13チームがヒアリングに進み、ヒアリングの結果以上の7チームが採択されました。

チーム名	課題名	紹介スライド
株式会社イーダーム	がん治療における外観変化の客観的理解による革新的治療から健康寿命の延伸	-
リベロ株式会社	がん・臓器がん・肺小境域に発生するGPCRをターゲットとした遺伝子がん阻害薬の開発	PDF(479KB)
チーム起華	特発性肺マロフォーミング様による右中葉腫瘍増殖細胞（CTC）の選択的予防・回収技術	PDF(108KB)
ARNAXワンクランプロジェクト	肺炎後の免疫アジューブント・ARNAXの開発	PDF(608KB)
産業技術総合研究所	がん患者等の精神状態を維持・改善するバイオフィードバック治療のための「ガラスシールド型PAB（PARO）」の開発と実用化	PDF(237KB)
株式会社BISPEE	反方向性ターゲットを用いた、うつ病に対する2ARVDデジタル療育のための治療領域に特化する臨床応用開発	PDF(405KB)
DELISPECT	急性期療育の患者負担を軽減するせん妄対応支援プログラムに関する研究開発	PDF(1MB)

既に各チームへの支援を開始しており、その成果については2022年度末に発表会を開催予定です。

NCC VIPの主な成果

- 未起業(支援開始時点)7チーム中 5チームが起業
- 全19チーム中 新規資金調達14チーム: 民間(VC等)10, 公的資金4
- (NCC外)15チーム中 10チームがアドバイザー/共同研究等にて支援を継続
- 2チームが治験(First in Human)を開始
- 1チームが米国進出+米国でのシリーズA達成

* 3チームが海外展開を検討/準備中 →NCC VIPを通じて豪州政府関係者とのマッチング等を実施

京大と国がん、iPS細胞由来NK細胞による
医師主導治験の1例目を報告

1pt 4分
2021.11.12 野村和博

シェア シェア 送る 送る

この記事を印刷する

京都大学iPS細胞研究所(CiRA)の金子新教授と国立がん研究センター東病院の土井俊彦副院長らは、CiRAのiPS細胞から分化誘導したNK細胞に抗GPC3-CAR遺伝子を発現させた「iCAR-ILC-N101」の第1例目の投与を、2021年9月に実施したと発表した。医師主導治験として行って



PR Newswire News Products Contact

News in Focus Business & Money Science & Tech Lifestyle & Health Policy & Public Interest People & Culture

Shinobi Therapeutics Launches
with Completion of \$51M
Series A to Advance
Hypoimmune iPS-T Cell
Therapy Platform

SHINOBI
THERAPEUTICS

NEWS PROVIDED BY
Shinobi Therapeutics →
12 Dec, 2023, 08:30 ET

SHARE THIS ARTICLE

f x in p e t

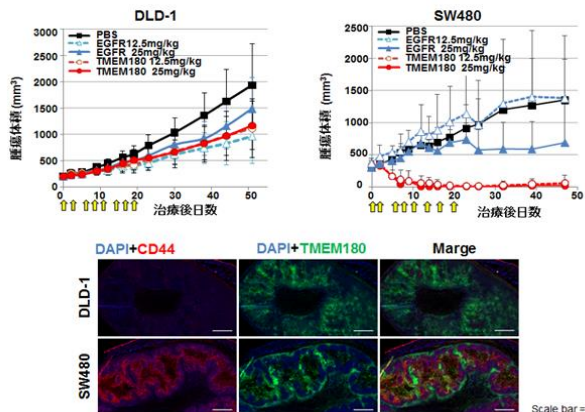


国立がん研究センター発ベンチャー認定制度（現時点で6社認定済み）

□ (株) 凜研究所 大腸がん抗体薬のFIH試験導入

図5

抗TMEM180抗体の抗腫瘍効果



NCCベンチャー企業治験としてFIH試験開始(23/01)

□ 医療機器関連ベンチャーNEXT関連とM&A達成(A-Traction)

ASAHI SURGICAL ROBOTICS

国内医療機器ベンチャーとして
数少ないEXIT!!

Forbes 30 Under 30 Asia 2021

Hiroki Matsuzaki, 27
FOUNDER, JMEES | JAPAN

Matsuzaki, who studied engineering at The University of Tokyo, started the Chiba, Japan-based firm in 2019. Its AI medical software supports surgeons performing endoscopic procedures. Japanese VC firm UTokyo Innovation Platform chose the firm as one of six startups to support in 2020.

FULL PROFILE

MICCAI 2021
(Medical Image Computing and Computer Assisted Intervention)

**Forbes 30 Under 30 Asia 2021に選出！
MICCAI challenge 2021 最高精度を達成！**

Surg storage

内視鏡外科手術データベース 構築プロジェクト

1. 手術動画収集 2. データベース構築 3. データ活用

600 症例
3000 症例
84 協力機関

AI活用
AI活用
AI活用

研究 情報共有
安全管理
医師教育 トレーニング

□ ノイルイミュン・バイオテックのIPO達成

Noil Immune Biotech

Create the Future to Overcome Cancer

ノイルイミュン・バイオテック株式会社は、CAR-T細胞を用いたがん免疫療法を開発中。がん免疫療法の分野において最先端の技術を持つ「ノイルイミュン」を創出します。

2023年6月28日

各位

会社名 ノイルイミュン・バイオテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 玉田 耕治
(証券コード: 4993) 東証グロース市場
問合せ先 取締役 永井 寛子

東京証券取引所グロース市場への上場のお知らせ

ノイルイミュン・バイオテック株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 玉田 耕治、証券コード:4993)は、2023年6月28日をもって、東京証券取引所グロース市場へ上場いたしました。ここに謹んでご報告申し上げますとともに、これまで当社を支えていただきました全てのステークホルダーの皆さまのご支援、ご協力に心より御礼申し上げます。

当社は、「がんを克服できる社会の創生に貢献する」という経営理念の下、当社の独自技術である PIONE (proliferation inducing and migration enhancing) 技術を用いた、異種がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法の研究開発に取り組んでおります。このたびの上場を機に、一日も早くがんという病に苦しんでいる世界中の患者様へ真に有効な治療をお届けできるよう事業を進めてまいります。

なお、取組上場に関する詳細につきましては、日本取引所グループのウェブサイト「新上場会社情報」をご覧ください。

日本取引所グループ「新上場会社情報」ウェブサイト
<https://www.jpx.co.jp/listing/stocks/new/index.html>

NCCベンチャー発手術支援ロボット
薬事承認:2023年2月

ASAHI SURGICAL ROBOTICS

NCC認定ベンチャー

手術支援ロボット開発

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

認定ベンチャー

国立がん研究センター東病院と朝日サージカルロボティクス株式会社共同開発
新コンセプトの腹腔鏡手術支援ロボット
「ANSUR サージカルユニット」医療機器承認

2023年3月23日
国立がん研究センター東病院がん研究センター

- 開発のポイント
- 執刀医が一人で電子内視鏡カメラの前方を直視的に操作できる新しいコンセプトの「腹腔鏡手術」支援ロボット「ANSUR」サージカルユニットを共同で開発し、医療機器として承認されました。
 - 遠隔2人で行う助手と主刀の作業を1台のロボットで担うことで、外科医のワークライフバランスの改善・向上が期待されます。また、より簡単に手術を進めることで手術時間が短縮され、より患者さんの体への負担が少ない環境の提供が可能となります。
 - 国立がん研究センター東ベンチャー「による医療機器の承認取得は初めての成果です。

NCC 認定ベンチャー6社中 2社がExit(IPO, M&A)、承認取得1社(手術ロボット)、承認申請1社、FIH 2社(+準備中1社)

橋渡し支援としても設立済みスタートアップの19シーズを支援中

拠点の特色・特徴となる新たな取り組み

○アンメットメディカルニーズに基づくスタートアップ創出
日本型カンパニークリエーションモデル構築(S0枠)

○グローバル市場での起業・資金調達・上市を
可能とする支援体制構築(S0～S2枠)

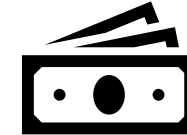
シーズ・基礎技術



スタートアップ設立



資金調達



創薬エコベ
ンチャー等
へ接続

○起業家レジデント制度によるサイエンスバック
グラウンドを持つCXO人材育成(S0枠)

その他:(S0～S2枠)

- 伴走支援および各種専門人材メンターネットワーク
(海外人材を含む)
- 支援機関ネットワーク(国内・海外)
- 教育プログラム(国内・海外)
- 発掘・選定・ステージゲート評価体制の構築

目的

(拠点の特色・特徴)日本型カンパニークリエーションモデル

- ・米国等では、VC自らが研究仮説を設定・検証を行った後に、スタートアップを作り上げるカンパニークリエーションの取り組みが進んでいる。
- ・Flagship Pioneering(米国VC)による、モデルナ社とmRNAワクチンは社会的にも大きなインパクトを挙げた成功例として知られている。
- ・日本のVCも試行的にカンパニークリエーションを試みているが、VC側にサイエンティストが少なく、仮説検証を行うインキュベーション施設なども少ないこともあり軌道に乗っているとは言えない。
- ・本事業で、国内最大級の研究所を有し、国内外に研究者ネットワークを持つ国立がん研究センターと、本事業での伴走支援、協力機関(LINK Lab, 中小機構)のインキュベーションラボを活用することで、日本型のカンパニークリエーションモデルを確立することを目的とする。

アンメットメディカルニーズに基づく優先課題枠設定と選定

- ・課題選定委員会(選定委員会の一部委員)にて、現在のアンメットニーズや将来予測に基づき、優先的に解決すべき課題を特定する。
- ・PMを中心に、外部有識者の助言を受けながら、課題のDD(技術評価書作成)と国内のソース(研究者など)を探索する。
- ・上記を元に公募課題を設定し、公募を行う。

S0枠での採択

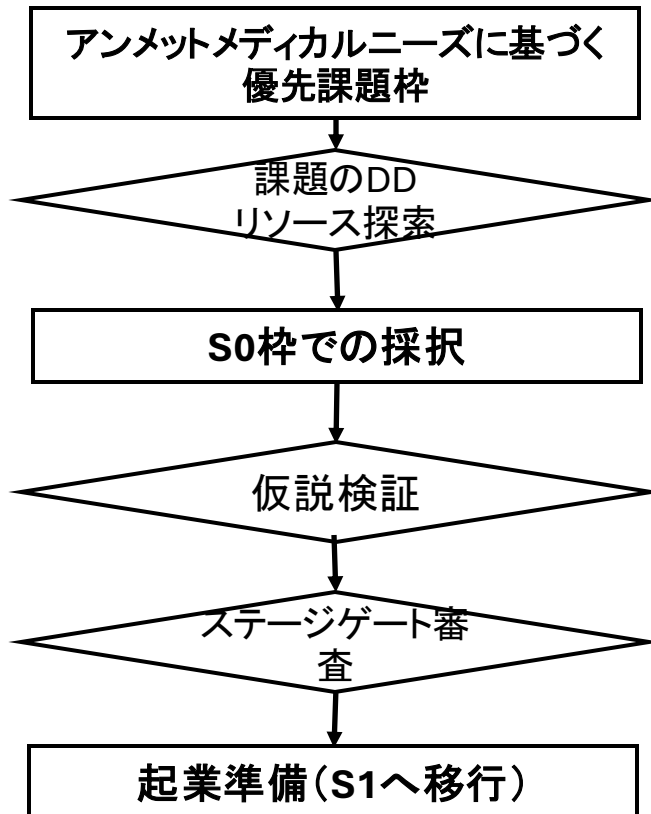
- ・シーズS0の枠として選定委員会にて選考を行う。
- ・審査ではシーズの内容に加えて、事業化仮説やその実現性についても審査を行う。

仮説検証・ステージゲート審査

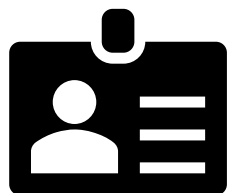
- ・シーズS0の枠として、上限1,000万円の経費を計上し、仮説検証を行う。
ただし、本枠では必要に応じて1,000万円以上の経費計上も可とする。
- ・支援機関は最長2年間とする。
- ・毎年ステージゲート審査を行うとともに、PMの伴走支援にて、事業仮説が検証できないと判明した時点で随時支援を打ち切る。

起業準備(S1枠へ)

- ・事業仮説が検証できた場合には、S1枠へ応募することで引き続き支援を行う
- ・起業に当っては起業家レジデント制度での育成者を優先的に配置する



- ・革新的なシーズはシニア研究者が保有するケースが多いが、我が国のシニア研究者は、必ずしも自ら起業・経営者(CEO)となることに積極的ではない傾向がある。
- ・革新的医療技術を開発するスタートアップにはサイエンスのバックグラウンドを持つ経営人材(CXO候補)が不可欠である。
- ・海外ではEntrepreneur In Residence (EIR)として、自ら起業した・製薬企業等での研究開発の経験者が、支援者としてスタートアップを支援した後にCXO候補としてスタートアップに参画する制度が有効に機能しているが、我が国ではそのリソースが極めて限られている。
- ・自らシーズを保有する研究者を起業家としての育成するのに加え、サイエンスバックグラウンドを持つCXO候補者の育成・供給が、我が国のスタートアップエコシステムを活性化するためには不可欠であり、当事業でもSO枠を活用し育成プログラムを構築する。



起業家レジデント候補者

- ・サイエンスバックグラウンドを持つ(Ph.Dもしくは同等以上と認められる実務経験)
- ・43歳以下
- ・プログラム終了後1年以内に、スタートアップのCXOとして参画する、もしくは自身がCEOとして起業する意思がある。
(自らシーズを保有するかどうかは問わない)

選定方法

- ・シーズS0の枠として選定を行う。
- ・S0を担当するPMの推薦により、選定委員会にて選定を行う。

契約内容

- ・シーズS0の枠として、上限1,000万円の経費を計上
- ・同時にSU支援拠点の事業費を用いて、NCCとの雇用契約(非常勤・常勤)を締結する
- ・シーズS0枠としては1年、雇用契約としては最長2年とし、その後は自ら起業もしくはスタートアップへ参画を促す。(マッチング等を実施)

シーズS0枠としての実施事項(S0枠 委託費)(CXO候補者の育成を目的)

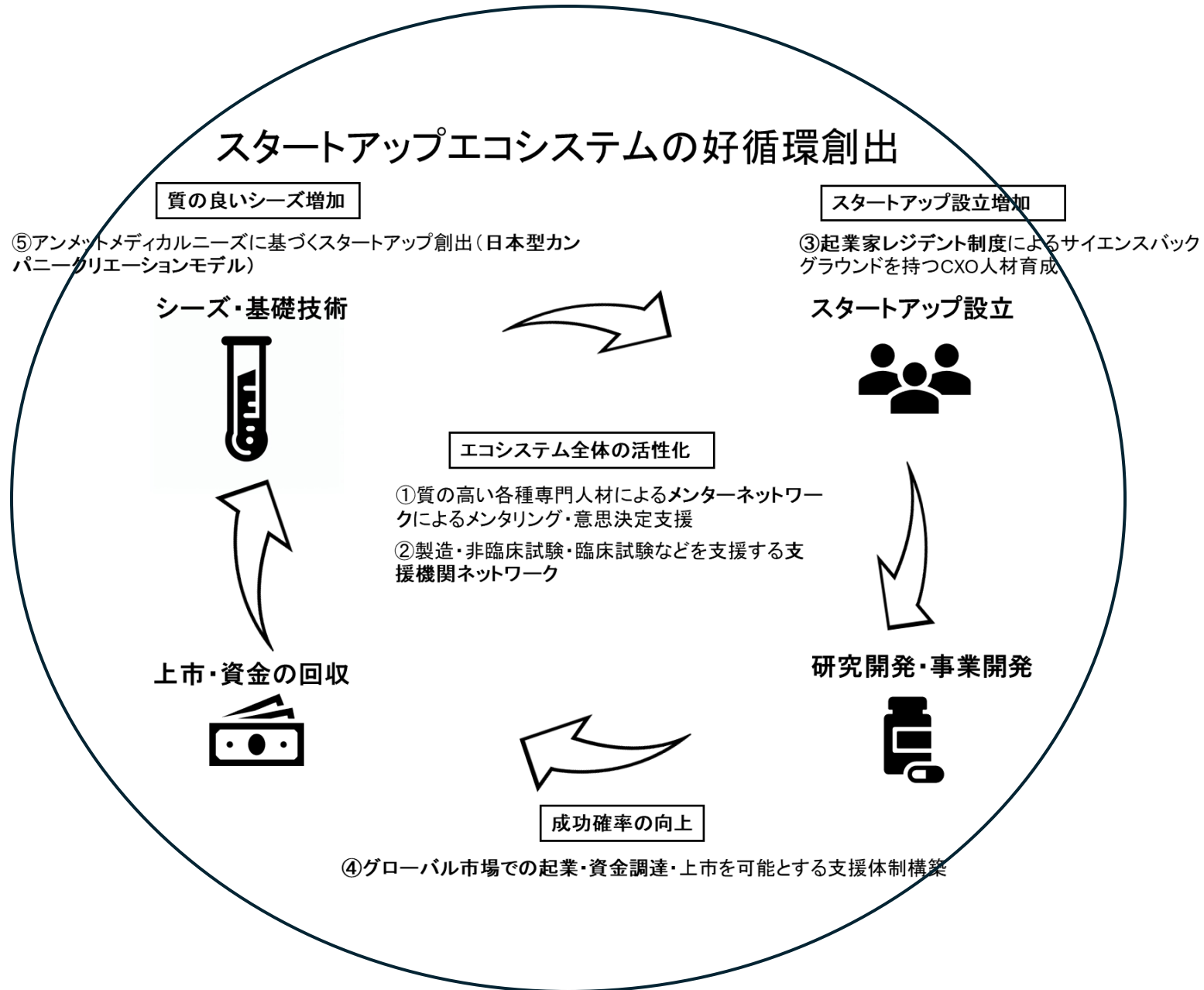
- ・SU支援拠点のオリジナル教育プログラムの受講(海外プログラムを含む)

NCCとの雇用契約での実施事項(SU支援拠点事業費 人件費)(業務遂行支援・OJT目的)

- ・PMが実施するS0～S2支援対象に対する伴走支援のサポート業務を行う



当拠点が我が国のエコシステムに与える効果



採択後の進捗

事業進捗

- 10月1日：事業開始
- 10月23日：スタートアップミーティング/関係者会議
- 11月5日：Texas Medical Center来日/契約締結

NCC VIP
第III期成果報告会 & **NCC SAP**
スタートアップミーティング

10月23日 水 13:00 ▶ 16:30

第1部：NCC Venture Incubation Program 第III期成果報告会

13:00 開会の挨拶
国立がん研究センター 東病院 病院長 土井 敬彦

13:05 第3期のまとめ
国立がん研究センター 東病院 臨床研究支援部門長 佐藤 晴洋

13:20 「がんを対象とした1塩基変異を特異的に抑制するSNPD-siRNA核酸医薬開発」
東京医科大学 総合研究機構 核酸・ペプチド創薬治療研究センター 特任教授 堀 久美子

13:35 「新規がん免疫治療法の開発と事業」
長崎大学先端創薬イノベーションセンター センター長 教授 田中 義正

13:50 「難治性多発性骨髄腫に対するFirst in Human試験に向けたTBP1901の開発」
株式会社セラバイオファーマ 岸本 充弘

14:05 「自宅におけるがん治療副作用対策と栄養摂取サポートへの取り組み」
株式会社DeaLive 代表 牧原 正樹

14:20 「癌腫抽出患者さんのための発熱デバイスの開発」
杏林大学/国立がん研究センター中央病院形成外科 毛利 美貴

14:35 閉会の挨拶
国立がん研究センター 東病院 臨床研究支援部門長 佐藤晴洋

第2部：大学発医療系SU拠点 (NCC SAP) スタートアップミーティング

15:00 開会の挨拶
国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター/先端医療開発センター センター長 土井一俊

15:10 事業概要の説明
国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター/東病院 臨床研究支援部門 部門長 佐藤晴洋

15:30 「協力機関よりご挨拶：NCC SAPに期待すること」

16:20 今後の予定、閉会の挨拶
国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター/東病院臨床研究支援部門 部門長 佐藤晴洋

主催：国立がん研究センター 東病院
協力：三井不動産株式会社
一般社団法人ライフサイエンスイノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

第1部 NCC Venture Incubation Program事務局
NCC_VIP_office@east.ncc.go.jp

第2部 橋渡し研究推進センター事務局 (スタートアップ担当)
cpot_su@ml.res.ncc.go.jp



令和6年度 橋渡し研究支援機関 AMED 橋渡しプログラム

医療系スタートアップ 支援拠点

課題募集のご案内

国立がん研究センターは、がん領域のスタートアップ設立による
医薬品、医療機器開発に関する課題を募集します。



募集区分

- S0** 起業を目指す若手研究人材
- S1** 起業を目指す課題
- S2** 起業直後でVC等の民間 資金獲得を目指す課題



支援内容

シーズS0 若手育成	1,000万円/ 最長2年間	学生や研究者などの若手人材・チームを対象に、 プロジェクトマネージャーが起業に向けて伴走支援する。
シーズS1 起業前	3,000万円/ 最長3年間	起業する前に必要な、 ◆フィージビリティスタディの実施 ◆人材の確保 などを支援する。
シーズS2 起業直後	1.5億円/ 最長2年間	起業直後、民間資金を獲得するまでの間、 ◆非臨床試験 ◆経営人材の確保に必要な経費 ◆KOLとのマッチング などを伴走支援する。

募集要項、申請書などの詳細はHPをご覧ください (12/23公開予定)

<https://www.ncc.go.jp/html/nccs/sap/index.html>



応募に関する説明会 事前登録制
2024年12月25日 (水) 10:00 - 11:00

参加登録



問い合わせ

橋渡し研究支援機関 医療系スタートアップ支援拠点
国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター
National Cancer Center Seed Acceleration Program (NCC SAP)

✉ cpot_su@ml.res.ncc.go.jp

第1回公募のスケジュール

2024年

12/23 公募要項掲示(公募開始)

12/25 10:00～公募説明会(Web)

2025年

1/24 応募締め切り

～2月末 書面審査

～3月中対面審査(Webにて実施を予定)

～3月末

採択決定～契約締結

ご清聴ありがとうございます。